



# かまいし 市議会だより

- 9月定例会の概要……………2
- 議決議案・議案賛否……………3
- 9月臨時会の概要……………3
- 一般質問(12人登壇)… 4
- 議案審議……………16
- 決算特別委員会……………16
- 議員全員協議会……………18
- 議長のあいさつ……………19
- 新しい議会構成……………19
- 議会の動き……………20



11/4(土) 釜石大観音の神楽で盛りだくさんなマーケットの出店販売を実施します。ぜひ来てね!

**JYELALA**  
MENU

- ・Apple sherbet  
林檎のキャラメリゼ ¥300
- ・Apple sherbet  
林檎のシャーベット ¥300
- ・Tonga vanilla  
トンガバニラ ¥300

**WELCOME**  
PLEASE BUY IF YOU LIKE.

## 新鮮な雰囲気での新任期はじまる

## 野田市長4期16年最後の定例会

9月定例会は、10月10日から10月25日まで、16日間の会期で開催しました。

初日には、市長報告が行われ、17日からの一般質問には12人が登壇し、市政課題について議論を交わしました。

20日には、決算特別委員会を設置し、25日まで令和4年度一般会計決算、国民健康保険事業特別会計決算など8件について審査を行いました。

今定例会に提出された市長提出議案12件について、全て原案のとおり可決、認定しました。また、議員提出議案3件については全て可決となりました。

## 新議会がスタート

新議会は新人5名を含む定数18名によってスタートしました。新しい議会構成として総務・民生・経済常任委員会を始め、議会運営委員会、そして議会改革・災害対策、議会だより編集委員会の特別委員会が設置され、今後任期4年間の議会運営が行われます。

今回の議会は新人議員の加入で新しい風を感じる議会となりました。一般質問では新人3名が「支線バス

路線の利用促進」やコロナ感染症や燃料高騰における「事業者支援」また金石市国際外語大学の開校を契機に「金石市と各大学との連携」など当市の取り巻く諸課題について積極的に提案や課題を取り上げるなど、新人議員のインパクトのある発言が印象的でした。ほか現職議員からは喫緊の課題として新市庁舎建設の進捗状況や跡地の有効利用、また当市の慢性的に抱えている医療体制や子育て支援、防災や水産、教育と多岐にわたったの質問が

## 市長最後の議会

活発に行われました。議会最終日の10月25日には野田市長が11月17日付で（4期16年）退任するにあたって最後の言葉を述べられました。就任直後から東日本大震災に見舞われ、寝食を忘れて多忙な時を送った、まさに激動の日々を送られたことと思います。同時に震災から12年と8ヶ月となりますが、私たち金石市市議会も新しい気持ちで

市民の負託にこたえ、市民とともにより良い議会を目指していきたいと思えます。

## 会計検査院の指摘

市は、令和2年度に公立小中学校の情報通信ネットワーク整備事業として交付された補助金のうち、補助対象外となる経費847万9千円が過大交付されたとの指摘を会計検査院から受けていました。

議員からは、申請時に気付かなかったのか、文科省も不適切との指摘を受けており当市だけが悪いとは言えないが、落ち度は認めなければならぬなどの発言がありました。

教育委員会からは文科省からの説明書には対象外経費の記載はなく県への申請の際にも確認したが指摘を受けなかったとの答弁がありました。

返還分は補正予算での提案を検討することです。

# 9 月 臨 時 会 議 決 議 案

議案番号	議案名	審議結果	
報告第4号	公用車による車両損傷事故に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について	—	—
議案	第57号	釜石市監査委員の選任に関し同意を求めることについて	同意 全員
	第58号	釜石市教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	同意 全員

## 議案等の賛否

9月臨時会では賛否が分かれた議案はありません。

# 9 月 定 例 会 議 決 議 案

議案番号	議案名	審議結果	
報告第5号	令和4年度釜石市健全化判断比率及び公営企業資金不足比率の報告について	—	—
議案	第59号	釜石市都市広場条例	可決 全員
	第60号	釜石市防災会議条例の一部を改正する条例	可決 全員
認定	第61号	令和5年度釜石市一般会計補正予算(第4号)	可決 全員
	第1号	令和4年度釜石市一般会計歳入歳出決算	認定 全員
	第2号	令和4年度釜石市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定 全員
	第3号	令和4年度釜石市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定 全員
	第4号	令和4年度釜石市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定 全員
	第5号	令和4年度釜石市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認定 全員
	第6号	令和4年度釜石市公共下水道事業会計決算	認定 全員
	第7号	令和4年度釜石市漁業集落排水事業会計決算	認定 全員
議案第62号	令和4年度釜石市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	認定及び可決	全員
議議案第2号	議会改革特別委員会の設置について	可決	全員
議議案第3号	釜石市議会だより編集特別委員会の設置について	可決	全員
議議案第4号	災害対策特別委員会の設置について	可決	全員

## 議案等の賛否

9月定例会では賛否が分かれた議案はありません。

## 9 月 臨 時 会

釜石市議会議員選挙後の初の議会は、9月15日に1日の会期で開催されました。正副議長の選挙が行われたほか、総務常任委員、民生常任委員、経済常任委員、議会運営委員の指名がそれぞれ行われました。

さらに、釜石大槌地区行政事務組合議会議員、岩手沿岸南部広域環境組合議会議員、岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員が選出されました。

また、議案第57号の釜石市監査委員の選任と議案第58号の釜石市教育委員会の委員の任命に関しては全会一致で同意されました。

その他、公用車による車両損傷事故に関して、損害賠償額が決定し、それに伴う和解が成立したため専決処分を行ったことが市当局から報告されました。



磯崎翔太 (創政会)

質問項目

- ・子育て支援について
- ・新庁舎建設事業について
- ・教育行政について

### 第3子以降の給食費無償化の検討は

## 対象を拡充、事業費の増額を計上した

**議員**

今年度から実施している第3子以降の給食費無償化の対象については、高校生以上の子どもが第1子とみなされず、第3子と認定される児童生徒が多くない。6月定例会において、事業の拡充等について検討

する必要があると答弁があったが、具体的にどのような検討がされたか。

**教育部長**

多子世帯への経済的な支援として、本年度の当初予算に計上した給食費の一部無償化事業については、高校生以上の子も含めた第3子以降の児童生徒を対象を拡充し、これに

伴う事業費増額の補正予算を本定例会に計上した。財

源の確保が整ったこと、物価高騰なども考慮して、多子世帯への経済的支援を充実させることが必要であると判断した。

**議員**

新市庁舎建設事業は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対策や先入札において優先交渉者の入札において優先交渉者の辞退があったことなどを受け、当初の予定よりも大きく遅れを取っている状況にある。再度広告入札が実施されたが、前回と同様に地元事業者の参加を必須条件とした理由は。

**市長**

新たな入札方法やその参加資格について検討はしてきた。庁舎建設という事業規模が大きな工事を行う上で、まずは、履行の確実性と建物の品質担保が非常に重要であると考え

る。一方で多額の事業費が見込まれる中、復興事業におけるハード整備が終了し、自然災害による復旧工事を除く公共工事が減少している現状を鑑みると、市内事業者の工事への参加並びに雇用者確保や資材調達、工事に伴う飲食業や宿泊業の利用など、様々な面で地域経済を活性化させる

スライド条項：工事の契約締結後に賃金水準や物価水準が変動し、その変動額が一定程度を超えた場合に、請負代金額の変更を請求することができる条項。

ことも重要な目的の一つであることを改めて確認した。

**議員**

昨今の建築資材の市場価格動向や、人手不足に伴う賃金の上昇ペースを加味すれば、建築期間中に請負代金の変更が生じるが、その際にはスライド条項の適用可能性はあるか。

**総務企画部長**

今回の新市庁舎建設工事は、24ヶ月にも及ぶ長期間工事で、昨今の社会情勢の変化に伴う資材高騰は収束する気配も感じられず、本工事におけるスライド条項の適用については可能性があると認識している。



新市庁舎建設地

# 津波発生時の自動車避難は

## 有効な避難方法を検討

**議員** 公共交通の維持にかかる市の負担額及び公共交通の収支率は。

**市民生活部長** 令和4年度、幹線バスは、運行経費が1916万円、運賃収入が361万円、収支率は18・9%。支線バスは、運行経費が4906万円、運賃収入が422万円、収支率は8・6%。三陸鉄道の負担額は、5303万円である。JR釜石線の費用負担はしていない。

**議員** スクールバスの運行状況と支線バス等の連携の可能性は。また、路線バスとの連携は。

**市民生活部長** 支線バスとスクールバスとの連携には至っていない、スクールバスと路線バスとの連携は、関係者等と協議を継続。

**議員** 路線バス車両等へのICカード導入及びキャッシュレス化は。

**市民生活部長** 導入決定時には、国や県の補助制度を活用し、機器の更新が行われるよう財源確保に努める。

**議員** 当市の平均寿命の短い原因及びその対策は。

**保健福祉部長** 当市は、塩分摂取量が多く、喫煙率も高く、運動習慣の定着割合が低いことが原因である。

特定健診や各種がん検診などの受診率を向上し、疾病の早期発見や治療を行う。

**議員** 「健康寿命日本一へ向けて」の取り組みの実施内容は。

**保健福祉部長** 社会活動や個々の行動の中で健康への関心を高め、脳卒中死亡率最下位からの脱却、がんや心疾患の死亡率の低下を目指す取組を推進する。

**議員** 市外への広域避難の内容と市民への周知は。

**市長** 大雨洪水時の広域避難場所として「遠野運動公園駐車場」を追加指定した。最大規模の降雨量が見

込まれる気象条件が予想される場合に広域避難を呼びかけ、開設をする避難所を決定し、防災行政無線のほか、いわてモバイルメール、市のLINEで周知。

**議員** 常設の避難所として、廃校となった学校施設を整備し活用は。

**危機管理監** 旧大松小学

校の活用や、市内の他施設も災害の状況に合わせた活用方法の検討を進める。

**議員** 津波発生時の自動車避難は。

**危機管理監** 町内会や自主防災組織との協議・訓練を重ね、地理的要因や地域の特性を踏まえ、有効な避難方法のあり方を検討する。



幹線バス (岩手県交通)

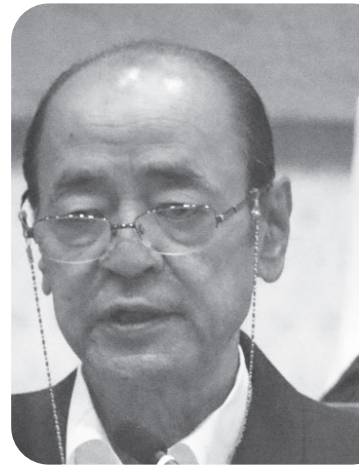
支線バス (コミュニティバス) …岩手県交通撤退後の4路線を市が運行している。釜石北部コミュニティバス、釜石南部コミュニティバス、にこにこバス2路線 (箱崎白浜方面、尾崎白浜方面) を運行。



菊池 秀明  
(令和クラブ)

### 質問項目

- ・公共交通について
- ・「健康寿命日本一へ向けて」について
- ・災害時の避難について



佐々木義昭  
(21世紀の会)

### 質問項目

- ・無縁墓地の管理
- ・新庁舎建設後の跡地利用について

## 新庁舎建設後の跡地利用は

### 解体や民間事業者へ売却する方針

**議員** 新庁舎建設後の跡地利用をどう考えるのか。

**市長** 第1・2・4・5庁

舎は解体を基本として売却または、防災空き地として活用、第3庁舎は解体または書庫もしくは倉庫を検討しているほか、一部公用車の駐車場として利用する方針だ。

**議員** 跡地は敷地、駐車場合わせて7500㎡あり、復興スタジアムの80%ほどある。この跡地の有効利用は東部地区の人流、環境等生活環境を変える可能性がある。単に解体、売却するだけでなく、もっとこ

の地域全体を俯瞰的にみて、まちづくりを考えるべきだ。

**新庁舎建設推進室長** 予定地

周辺の町内会役員関係者からは公園整備に関する要望が出ており、併せて広場や緑地公園の可能性、必要性を視野に協議を続ける。

**議員** 将来展望を踏まえた計画であるなら意見交換の場に年齢層の若い方々も交えての場も必要では。

**総務企画部長** 次の機会から若い方々の意見を取り入れる工夫をしたい。

### 合葬墓の設置

**議員** 人口減に伴いお墓

の管理をする人が激減し、市内での無縁墓が3000基以上とも言われている。

事情があって釜石を離れる方、一人暮らしや認知症を患って施設に入っている方、また、お墓が高台にある、高齡のため墓参りに行けないなどで無縁墓や墓じまいが少なくない。これでは代々のお墓を守り続けることはできない。亡くなった先代の方々に安寧と感謝の気持ちをささげ、墓石

合葬墓(がつそうぼ) ……宗派を問わず、複数の人の遺骨を同じ土中に埋葬する形のお墓。

に祭祀のできる共同墓地「合葬墓」を設置すべきでは。

**市民生活部長** 人口減少と

ともに墓地に対する意識も変化し、墓地のあり方も多様化時代に寄り添っていかなければならない。実際、

墓地の移転や墓じまいに必要な改葬許可申請も増加傾向にあるので、他市の例などの情報を収集し、仏教会と合葬墓の設置について検討の機会を設ける。



合葬墓の一例

# 支線バス路線の利用促進は

## スクールバスの連携を検討

**議員** 支線バスとスクールバスの運行と連携で増発の可能性、利便性の向上は。

**市長** 路線バスとスクールバスの連携により効率的な運行を図ることは有力な選択肢であり、関係機関と十分な検討を深めたい。

**議員** 将来を見据えた自動運転バスの導入検討は。

**市長** 持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、運転手不足によるバス路線廃止対策等に近年期待が高まっているが、現時点では運転手の不足によるバス路線の廃止対策や交通事故を防止する安全対策等

の課題に対する解決策として効果を得ることは難しいが将来的な導入については検討し、情報収集に努める。

**議員** スクールバスの運用課題と今後の対策は。

**教育部長** バス運転手の不足については、令和2年度より業者委託で行っている。児童生徒数の減少地域への対応が今後の課題と認識している。今後、スクールバスの適正な維持管理・運行に向けて、学校、保護者、関係機関と連携を図りながら取り組む。

**議員** 当市のスクールバス乗車基準の中学生4km、

小学生2・6kmは適正な距離なのかを伺いたい。

**教育部長** 当市では公共交通機関の利便性や山間部の地理的要因を考慮し文部科学省の基準の中学生6km、小学生4kmを緩和した概ね3分の2程度の距離とし、健康面で配慮が必要な場合や身体的に障がいがある場合などには、距離に関係なく利用を認めている。

**議員** 鹿、熊、車の往来、不審者等の危険性を考慮し

中学生4km、小学生1・6km程度が妥当では。

**教育部長** 文部科学省の基準より短くして対応してい

る。学校を通して相談があった場合、相談を受けながら必要に応じて対応する。

**議員** 平田駅の駐車場が無いことについて伺いたい。

**建設部長** 三陸鉄道開業当時、送迎に対応したロータリーを優先的に造つたため駐車場はスペース的に造られなかった。

**議員** 平田駅施設の利用者は多い。三陸鉄道開業記念碑のある場所は砂利であり車椅子で避難するにはスロープは急で狭く介助者が居ても困難である。環境整備に努めて欲しい。

**都市計画課長** 改めて現地の状況を確認し改善点があれば適切に施設管理を行う。



駐車場の無い平田駅

支線バス（コミュニティバス）…岩手県交通撤退後の4路線を市が運行している。釜石北部コミュニティバス、釜石南部コミュニティバス、にこにこバス2路線（箱崎白浜方面、尾崎白浜方面）を運行。

佐藤 憲 弘  
(民政クラブ)

### 質問項目

- ・コミュニティバスについて
- ・教育行政について
- ・三陸鉄道駅周辺の利用促進について



山崎 長 栄  
(公明党)

### 質問項目

- ・漁業振興について
- ・高齢社会における課題について

## 魚市場の経営改善はいかがか

### 危険な状況は好転しつつある

**議員**

魚市場の経営改善

に向け、関係事業者、市内の漁協、釜石市が連携し、水揚げの増強策を検討しながら具体的な取組を推進していくことが確認されていますが、経営改善はされてきているのか。

**産業振興部長** 9月末時点の水揚実績は、昨年同時期と比較して、数量は653トン減少しているが、不漁に伴う取引単価の高騰もあり、金額1億8782万円の増加となっている。震災以降最も水揚げの回復が図られた平成26年度、同時期との比較では、数量6割弱、

金額8割弱程度となっている。水揚げについては、廻

来漁船と地元トロール漁業者の誘致に加え、昨年10月に事業化した海面養殖「サクラマス」の本格的な水揚げ、主力である定置網漁業に対しては、高騰する燃油代に補助を行いながら、水揚奨励に努めている。今後はサンマ漁船、巻き網漁船の積極的な受入強化に努めるほか、イサダの水揚げが課題と考えている。財務状況は、月別収支の推移をみると、昨年度は各月とも赤字だったが、本年4月以降は堅実に黒字が計上され、

経営持続において、危険な

状況は好転しつつあると捉えている。現在、市漁連は、県漁連と連携しながら「漁業経営基盤強化対策緊急支援事業」を活用し、これまでの主力である定置網漁業に頼らない収益構造への転換を目標とする、事業計画の本年度末の策定を目指しているところだ。

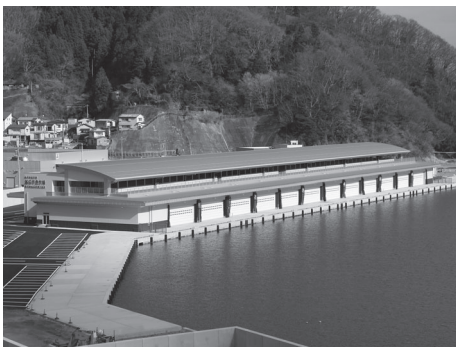
**議員**

漁協合併に係る協

議会は既に設置され、組織の再編に関する話し合いは進められているのか。

**産業振興部長** 「釜石地区

漁業協同組合合併推進協議会及び専門委員会」を設置



釜石市魚市場

して以降、市内漁協、県漁連、岩手県及び当市で構成する「合併推進協議会専門委員会」をこれまで3回開催し、主には、合併に向けたスケジュール、基本となる「合併及び事業経営計画書」の作成に向けた協議を実施してきた。現在、県漁連の協力を得ながら、「合

併及び事業経営計画書」案の作成に至っており、市内3漁協において、内容の精査など、調整作業を行っている段階だ。合併の方向性、指針は、基軸であった定置網漁業へ依存しない収益構造へ変換する必要があり、合併を契機とし、経営の合理化を図ろうとするものだ。



# 事業者への今後の支援策は

## 更なる事業継続に関する支援を検討

**議員** コロナ禍の事業者の状況をどのように把握されているか。

**産業振興部長** コロナショックと物価高騰などによる影響で売上減少など事業者を取巻く環境は一層厳しさを増している。市としてもさまざまな経済対策事業を実施してきたが、今後も物価高騰の営業が続くことが予測される現在、更なる事業継続に関する支援について検討している。

**議員** 事業者一律ではなく、業種別、規模別の支援として運用することは出来ないか。

**商工観光課長** 規模の大きい事業者に対しても経営改善支援金などの国や県の事業に紐づける上乘せ支援などを実施してきた。今後も国や県の支援策の動向を注視して、市で可能な支援策を検討していく。

**議員** 物価高騰と人口減による、継続困難になっている地域のイベントに対しての柔軟性のある支援は可能か。

**商工観光課長** 市内各地で行われているイベント等は補助限度額範囲内で多くの団体に使用されるように設定している。物価高騰など

による金額的な支援については県やその他の補助金等を活用してもらえようように後押しをしていきたい。

**議員** 平田・源太沢トンネルの状況と成果は。

**市長** 国道45号から平田駅までの1工区は完了している。同駅から上平田ニュータウン入口までの2工区とニュータウンから上中島町までの3工区は現在整備検討を行なっているが、国と県との協議をしており、事業採択には至っていない。2工区は子供達の通学路にもなっているため、優先的に進めていきたい。

**議員** 復興道路等の完成により大きく変わった状況の中、改めて地域住民に説明する場を設けてはどうか。

成して以来、説明会等は実施しておらず、なるべく早く説明会等を実施していきたい。

**建設課長** 直近では平成30年度以降で復興道路等が完



上中島町二号線道路



菊地 広 隆  
(創政会)

### 質問項目

- ・事業者支援について
- ・地域イベント等の支援
- ・交通網の整備について



高橋 松一  
(令和クラブ)

### 質問項目

- ・地域会議について
- ・新市庁舎問題について
- ・釜石市国際外語大学校問題について

## 臨時議会が勉強会に変わった意図は

### 落札業者の辞退で議員から意見を

**議員** 釜石市議会議員改選

期間の8月7日、臨時議会開会予定が、急遽、新市庁舎問題の勉強会に切り替わったがその意図は。

**新庁舎建設推進室長** 当初の

計画通り業者が決定し、臨時議会を経て事業を進める予定で8月7日に臨時議会を計画した。しかし、間もなく落札業者から諸物価高騰の影響を大きな理由とした辞退の申し出があった。市として、直ぐに議会に対し落札業者の辞退の経過説明や今後の発注方法など、当市の方針案を示し、改選前議員の意見を伺いたいと

考え変更した。

**議員** かつて釜石に科学

技術専門学校が設立された。その経過や結果等は今回の開校にどうかしたのか。

**国際港湾産業課長** 当時、

基幹産業の合理化等による人口減少と若者流出対策として学校の設立したが、バブル崩壊や予想以上の少子高齢化の進行など厳しい状況のありを受け閉校に至ったと認識している。来年の開校に向けては高校や関係機関からの要望である、当市や三陸沿岸地域に定着し仕事をしていける人材の育成や世界を視野に国際社

会で活躍できる進学先をと

の希望を踏まえ学科を設置した。今後、ニーズに対応しながら的確に円滑に定員の維持確保に努めたい。

**議員** 市長は地域会議と

生活応援センターは、地方自治に欠くことのできない両輪、今後、更に発展させ、多くの住民が幸せを実感でき、このまちに住み続けたいと思える釜石を作り上げていただきたい、と信念に基づき強い願望を語っていた。トップとして市民の幸せを願う市長の心遣いを。

**市長** 市長就任以来、市民がどうしたら安心した生

活を営めるのか常に考えてきた。施策としては、応援センターの充実と理想的な地域会議の設置をさせていただき、この十数年間で地域に定着できたと思う。今後、うまく運営できるかどうかは市民と職員の力に掛かっている。市民も地域のために何が貢献できるか、

行政側も職員として何ができるか、双方が努力し、その接点を作り上げて欲しい。これから人口減少が進み財源が厳しくなる中で組織を維持することは至難の業だと思う。議員には知恵をいただき、これからもご指導ご協力をお願いしたい。



釜石市国際外語大学校除幕式

# 将来を見据えた医療・介護の提供は

## 地域医療連携推進法人設立に協力する

**議員** 少子高齢化による人口減少は、地域医療にも大きな影響を与えている。

今後、医師の減少や高齢化、人口減少による医療従事者の不足によって既存の医療・介護の提供体制が難しくなると考えられている。

重い病気やけがに短期的に治療を行う「急性期医療」、継続的な治療を行う「回復期医療や慢性期医療」の地域医療と介護や福祉の連携が今後重要になる。

将来の釜石を見据え「地域医療連携」に力を入れ、子供から高齢者・障害を持つ方々が安心して暮らせる

まちとすることが求められていると思うが考えは。

**保健福祉部長** 今後も続く人口減少で民間医療機関においては、看護師等医療従事者の確保や経営改善への対応など、その影響は少なくないと予想されている。

こうした中で、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するための医療連携推進業務を行う「地域医療連携推進法人制度」が平成29年から開始されている。

今後、民間医療機関において、この法人の設立を望む声があれば、市としても、

関係する方々が話し合える場の設定、及びどういった形で立ち上げていくかといった時には、十分関与したいと考えている。

また、将来のスタッフの減少が見込まれる状況も勘案し、「地域医療連携推進法人制度」を活用したいという法人があればそこに対して支援をしたいと考えている。

### 若者の定住促進

**議員** 夢や希望を胸に働き暮らしている若者にも目を向けた今後の施策は。

**総務企画部長**

今後は、これまで実施してきた、高校生へのキャリア教育支援や、結婚の希望を叶える出会いの場の創出、新婚世帯への経済的支援制度、子育てとキャリアの両立支援、若者の交流の場づくりといった施策はもとより、出産や子育てといったライフス

テージに応じた経済的支援、雇用や教育の環境整備、産業や観光の振興、地域住民のコミュニケーション支援などの施策を検証しながら、若者世代に、当市に住み続けたいだけけるよう魅力や活力のあるまちづくりを目指して取り組んでいく。



急性期医療の充実が求められる県立釜石病院

**地域医療連携推進法人**：一般社団法人のうち、地域における医療機関等相互間の機能分担や業務の連携を推進することを主たる目的とする法人。医療法に定められた基準を満たすものを都道府県知事が認定したもの。

三浦一泰  
(民政クラブ)

### 質問項目

- ・地域医療について
- ・若者の定住促進について



細田孝子  
(公明党)

### 質問項目

- ・子ども真ん中社会の実現について
- ・交通安全について
- ・選挙における投票について
- ・防災行政について
- ・市内スポーツ施設の整備について

## 2階観客席からの落下防止策を

### 有識者の意見を伺い安全対策を図る

**議員** 市民体育館は、市民の健康増進をはじめ、各種スポーツの練習や大会の開催、或いは健診会場に活用されるなど利用率が高い。過日、市民から2階観客席のフェンスについて危険ではないかとの指摘があった。利用者への安全な施設の提供も重要だが、応援に来る方々の安全確保も必要ではないか。落下防止策を急ぐべきと考えるが。

**スポーツ推進課長** 手すりの高さのみならず下部空間があいており、子どもが身を乗り出すことを防ぐことは難しい状況と認識してい

る。更なる注意喚起に努めながら、観客席の視認性と安全性確保の両方を満たす対策を考えたい。また、応急処置を含めたハード面は、有識者の意見を伺い安全対策を図っていく。

### 防災士の活用

**議員** 地域防災力強化の一環として、地域や職場における防災意識の啓発や訓練を行うリーダー育成のため防災士の増員に努め、今年度末には約5百名となる見通しである。防災士のスキル維持と向上を目的に防

災講演会をはじめ各地域での防災講座や避難訓練等を開催しているとのことだが、市の防災士養成講座において資格を取得した方々への案内は出しているのか。

**議員** 資格取得者の中には地域防災に協力したいと考えている方が少なからずいるのではないかと考える。市の防災活動に協力していただけるのかどうか意

思を確認し、その上でスキルアップを図りながら活動につなげてはどうか。

**防災危機管理課長** 昨年度から、町内会等からの推薦を設け、推薦団体が地域での活躍を期待する方を推薦していただき、3団体6名が受講した。その方々には今年度、地域防災リーダー

として活躍していただいている。昨年以前に取得された方々についても、活躍できる環境につなげていきたいと考えていることから、市の研修会や防災訓練等の通知を希望するかどうかの意向を含めたアンケート調査を実施し、活躍できる仕組みづくりに努めたい。



市民体育館の2階観客席

# にこにこバスの運行状況は

## コロナ禍でも2路線の急激落込みなし

**議員** にこにこバスの箱崎方面・白浜方面と尾崎白浜方面・佐須方面2路線の運行状況を伺う。

**市民生活部長** 昨年度の運行状況は、箱崎白浜路線の利用者数2922人、運行経費が約1100万円、運賃収入が約61万円、差し引き額としての負担額は委託料約1039万円、収支率は5・6%で、尾崎白浜・佐須路線は利用者3141人、運行経費約1089万円、運賃収入約85万円、差し引き額としての負担額は委託料約1004万円、収支率7・8%となっている。

また、令和2年度は箱崎白浜路線の利用者数が3054人、運行経費が約1171万円、運賃収入約56万円、差し引き額としての負担額は委託料約1115万円、収支率は4・8%、尾崎白浜・佐須路線は利用者数が3418人、運行経費が1115万円、運賃収入が約64万円、差し引き額としての負担額は委託料約1051万円、収支率は5・8%となっている。

以上のことから、2路線の運行状況については、コロナ禍による急激な落込みは見られず、住民が日常的

に生活の足として利用していると推測している。

**議員** 箱崎白浜路線には狭隘な場所があり、バスが入っていけない所がある。箱崎半島2号線まで出るのが大変な方が何人もいます。何か対応策はないか。

**市民生活部長** 箱崎白浜路線については、住民の方々に日常的にご利用いただいているが、一方で狭隘な地形により、降雪時期は特に慎重な運行が求められる経路でもある。公共交通に関しては、バス運転手の高齢化や運転手のなり手不足等が課題とし

て挙げられるが、同時に、足が悪くてバス停まで歩けない方からの相談も寄せられている。山間や沢沿いを縫うように走る狭隘な道路は当市の特徴的な地形でもあることから、バス停まで歩けない方に対する対応は市内全域での課題でもあると認識している。

支線バスの地域で生活する高齢者等の日常的な移動手段の確保については、支線バス運転手の労務管理や乗客の安全面を考慮しながら、課題解決に向けて、効果的な運行体系が構築できるように、実情の把握に努めていく。



にこにこバス

支線バス（コミュニティバス）…岩手県交通撤退後の4路線を市が運行している。釜石北部コミュニティバス、釜石南部コミュニティバス、にこにこバス2路線（箱崎白浜方面、尾崎白浜方面）を運行。



古川 愛 明  
(創政会)

### 質問項目

- ・教育行政について
- ・市民生活行政について
- ・水産行政について
- ・建設行政について
- ・保健福祉行政について



村田 信之

質問項目

・大学との連携における効果について

# 多数の大学との提携の成果は

## 釜石の将来を担う人材育成に貢献

**議員** 「オープン・フィールド・カレッジ」について伺う。

**議員** 釜石市と提携している大学と内容と成果は。

た。

**議員** 高校生や地域との

かわりは。

**総務企画部長** 「釜石コン

パス」には講座のゲストと

して大学生が参加したり、

運営の手伝いをしてくれて

いる。また、拓殖大学サツ

カー部が復興支援の一環と

して訪れ、市内高校中学サ

ッカー部やサッカー少年団

との合同練習を行っていた。

まちづくりにおいて

も、「かまいし未来づくり

プロジェクト」に、淑徳大

学や青山学院大学などが参

加し、ワークショップなど

で意見交換を行っている。

「海と希望の学園祭」…釜石市民と研究者などとの交流イベント。講演、デイスカッション、ワークショップ、映画&トーク、演芸披露など幅広い分野で2日間行われる。今後も継続予定。

**議員** 大学生にとっての特典を考えられないか。

るかも含めて情報収集などを行っていく。

**総務企画部長** 当市での学

**議員** 大学生の宿泊施設

習活動が大学内での単位修

として復興住宅は使えない

得など大学生のメリットに

か。空き部屋はいくつある

なる仕組みの構築に向け、

か。

大学との意見交換を行うと

**都市計画課長** 69部屋ある

ともに、地域活動に関する

が、公営住宅法によって住

市独自の認定制度が大学生

宅困窮者の入居を予定して

にとつてインテンシブとな

いる。

**市長** 市全体を博物館と見立てる「釜石オープン・フィールド・ミュージアム」構想に取り組んできた。これに加え、市全体が学びの場になる「釜石オープン・フィールド・カレッジ」を構築し、様々な学びの場を創り出すことで、釜石の未来担う人材を育成する。また、魅力的なメニューを提供し、地域外の大学生や社会人を当市に呼び込むことで、持続的な交流人口の増加を図ろうとするもの。

**総務企画部長** 17の大学と提携などを結んでいる。震災前の平成13年に岩手大学と生涯学習を中心に、「地域連携フォーラム」を毎年開催している。平成20年の立正大学とは、「デリバリールカレッジ」を開催している。令和2年、文京学院大学とは地域産業・文化の振興につとめ、「釜石スタディケーション」を実施している。令和4年には東京大学と地域の将来を担う人材育成のために「海と希望の学園祭」を開くようになって



流通経済大学の「であうアート in 釜石」

# 受診時のマイナ保険証利用率は

## 全国8月の利用率は約4・7%である

**議員** 来年秋にも現在の

保険証が廃止されマイナ保  
険証に移行の予定となつて  
いる。医療機関において今  
年4月から資格確認のシス  
テム導入が義務化すること  
が示された。市内でマイナ  
保険証が利用できる医療機  
関と利用率はどのくらいか。

**市民生活部長** 市内では、

93・5%の医療機関が対応  
している。全国の医療機関  
の8月利用率は、4・7%  
と発表され、都道府県別、  
市町村別、保険者別には公  
表されていない。

**議員** マイナ保険証のト  
ラブルの発生件数が多く不

信感がある。当市の状況は。

**市民生活部長** 「医療機関

から被保険者情報が取得で  
きない」という問い合わせ  
が2件あった。

**議員** 世論調査では、7

割が現在の保険証廃止の撤  
回を求めているが当市の見  
解は。

**市民生活部長** 受診の妨げ

のないよう、被保険者に寄  
り添った対応を行っていく  
とし、現時点では、現在の  
保険証を継続して使用する  
ことは考えていない。

**議員** 新型コロナウイルス

ワクチン接種は、全額公  
費で負担する「特別臨時接

種」が今年度末で終了、来

年度以降は、自己負担が生  
じるケースもあると厚生労  
働省は示している。重症化  
や感染拡大から市民の命を  
守るため引き続き公費で接  
種できるように国に働きか  
けが必要と考えるが。

**市長** 現在の状況として

は、今年度末で終了する「特  
例臨時接種」について新た  
に安定的な制度のもとで接  
種を継続するための議論が  
進められていると理解す  
る。引き続き新型コロナウイルス  
の接種を希望される方が安  
心して接種できるよう国の  
動向を注視していく。

**議員** 移動期日前投票所  
は、過疎化や高齢化等で投  
票所の設置が困難なことや  
18歳になった直後の高校生  
が投票しやすいように設置  
されるものだが市内にあつ  
ても拡充が必要ではないか。

**選挙管理委員長** 今後市内

の2ヶ所の高校において移

動期日前投票所の設置の可  
能性を探っていく。

**議員** 選挙に対する意識  
向上の観点から高校生が立  
会人、事務補助等の一員に  
なることも考えられるが。

**選挙事務局長** その方向性

についても検討していく。



ポスター掲示場



深澤 秋子

### 質問項目

- ・マイナ保険証について
- ・新型コロナウイルスワクチンについて
- ・選挙について
- ・河川の草刈りについて

# 議案審査議

## 健全化判断比率

**問**

投資的経費は道路や公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費で、26・4億円から13・8億円に大幅に減少した。

これでは、公共工事に関係している方々、地域経済が悪化すると考えられるが、下げすぎではないか。

**答**

災害復旧費は災害次第だが、投資的経費は実施計画の中で行っており、下げすぎではない。また、財政に必要な基本的経費の投資は行っていく。

## 補正予算第4号

### 再生可能エネルギー

**問**

市で再生可能エネルギー導入を促進せず環境保全すべき区域等は既に把握しているはずである。なぜ今、促進・規制のゾーニングマップの作成を外部委託する必要があるか。

**答**

様々な法規制を重ね合わせるのに専門的な力が必要になる。その作業結果を素案とし、地元の理解、市・関係者等の意見を聞きながらゾーニングを進めたい。ガイドラインや条例の制定も考えている。

## 第3子以降給食費無償化

**問**

12月からの配食分が対象となるのとことだが、恒久的な支援制度として財源の目的が付いたことによる制度の拡充と捉えてよいか。

**答**

議員からの指摘を受け、制度の拡充とすることで検討を進めてきた。恒久的な支援ということよりも、今ある財源や基金を活用して実施できるという点において今回予算計上した。

# 決算特別委員会

決算特別委員会は議員全員で構成し、委員長に細田孝子委員、副委員長に野田忠幸委員を選出し、10月20日から4日間にわたり、一般会計決算のほか、各特別会計決算及び議案の計8件の審査を行いました。

審査の結果、各会計いずれも認定としました。

### ▽一般会計

歳入 220億9338円  
歳出 217億5471万3181円

### ▽水道事業会計

収益的収入 7億2136万4941円 (税抜)  
収益的支出 6億3424万8208円 (税抜)  
資本的収入 5667万3000円  
資本的支出 4億1149万8403円

### ▽下水道事業会計

収益的収入 13億7622万6241円 (税抜)  
収益的支出 13億5534万5928円 (税抜)  
資本的収入 4億7645万860円  
資本的支出 7億5002万344円

### ▽特別会計 (4会計合計)

歳入 86億8036万4329円  
歳出 84億4529万2219円

### ▽漁業集落排水事業会計

収益的収入 5143万5755円 (税抜)  
収益的支出 4975万6196円 (税抜)  
資本的収入 993万1600円  
資本的支出 1760万23円



## 歳入

### 諸収入

**問** 収入未済額に固定化している債権について、時効・失効等も考えられる。効率的回収を求めるが債権者への対応は。

**答** 未納者への対応については、催告書の郵送や、電話催告などの対応を行うとともに訪問及び呼び出しを行い債務の承認を確認し、納付約束や分納、完納に努めている。税外未収金の私債権は時効期間の経過と援用の課題があると認識している。

## 歳出・総務費

### マイナポイント 利用促進啓発

**問** マイナンバーカードの交付状況は。今後の課題は。

**答** 10月8日時点で交付率は80・7%、10月18日時点で交付準備済み未受領者は298人。国では一定期間取りに出来ない場合適切に廃棄。一方、市では再通知するなどできる限り廃棄することがないよう努める。高齢者や身体障がい者の方には個別で対応するなど検討しながら申請率及び交付率を上げることが課題。

### 結婚支援事業

**問** 結婚支援事業とウエディング奨励事業とではどちらの支援策で効果が出たのか。

**答** 平成5年ウエディング奨励金は5万円だったと思う。市としては令和4年度も結婚支援事業のアンケート調査結果を回収しており補助金を交付した方々から新婚生活の経済的負担軽減に役立ったとの回答があり満足度は高いと受け止めている。

### 未来づくり プロジェクト

**問** 釜石版Decidimの利用実績は。どのような質問か。

**答** 登録者数は令和5年9月時点で123

## 衛生費

### がん検診

**問** がん検診事業で精密検査を受けた数は。その受診内容を市民に公表し、がん検診の重要性を訴え、受診率を高めるべき。

**答** 受診と精密検査数は、胃がんは1607名中83名、大腸がんは3702名中240名、乳がんは1385名中32名、子宮がんは1211名中24名、肺がんは2496名中151名であり、精密検査内容は公表していないが、結果を分かりやすく周知が必要と感じる。

## 民生費

### 子ども 居場所づくり

**問** 不登校児童生徒の抑止につながる活動はあるのか。事業の効果は。

**答** 子どもにとって安心・安全な場所として学校以外の場を提供することが心の支えになると考えており、教育委員会やエンパワメントいわてとともに状況・情報を共有し、どんな支援が必要か相談し居場所の提供を行っている。支援が学校に気持ちが向けばと期待している。

## 農林水産業費

### 有害鳥獣対策

**問** 具体的にどのような対策を行っているか。また抜本的な対策が必要と思われるが。

**答** 鹿等有害捕獲委託事業として釜石大槌猟友会に委託しており、生活環境、農林水産業に被害を与える有害鳥獣の捕獲を行っている。改正鳥獣被害対策防止措置法に基づき、鳥獣被害対策実施隊50名を配置し、猟友会と連携しながら市民生活の安全を維持していく取組を進めたい。

マス)の現地認知度と差別化の対策は。

**答** サクラマスは釜石のみで養殖しており、稚魚の確保ルート等、他地域での参入は困難であり差別化は担保されている。認知度は、飲食店の試食会やサンプル配布、先進事例のセミナーや料理メニュー等のワークショップを開催した。市内小中学校の給食への提供など、認知度向上に努めている。

事業継続緊急支援金事業等。今後、政府は2024年問題が迫る中で、適正な運賃等に向けた措置の法制化に取り組むとしている。

引き続き国や県の動向を踏まえ支援を考えたい。

### 郷土資料館

**問** 郷土資料館はもっと積極的にPRをして入場者数を増やすべき。いまはアート思考、デザイン思考のほかにもじっくりものを見て考える「ミュージアム思考」が注目されている。

**答** 郷土資料館ホームページを使って、お金の力を入れている。近くに釜石市国際外語大学校ができることもあり、釜石について知ってもらいたい機会をつくっていく。

### 議員全員協議会

【令和5年10月4日開催】

①令和6年度釜石市国民健康保険税の税率改正の見送りについて説明がありました。理由は令和3年度、4年度の国民健康保険事業特別会計が若干の黒字になったこと、国民年金の支給額が微増となり、税率改正による国民健康保険税の増加は、年金支給額の増加より税負担が上回ることで負担の増大が懸念されること等が主な見送りの理由です。

②釜石市環境基本計画案についての説明がありました。第六次釜石市総合計画の生活環境分野の基本目標を受け、その実現に向けての指針となるもので、気候変動、脱炭素、自然共生、循環型社会、生活環境、協働・継承の各分野の基本的施策の方針と推進体制が示され協議が行われました。

## 商工費

### さかなのまちな活性化

**問** 釜石はまゆりサクラマス(以下サクラ

### 新型コナ

**問** 運輸事業者支援は。

**答** 県のエネルギー価格物価高騰等の影響調査で他の業種と比べて価格転化が進んでおらず大変厳しい状況にあると認識している。これまでの支援策は、燃料価格激変緩和措置、

### 体育施設等管理運営

**問** 昭和園クラブハウ

スは、公共施設等個別管理計画によると、長寿命化に位置付けられサービスマン維持と示されている。当施設は築30年以上になるが、地域活動や健康診断等に多くの市民が利用し、地元には必要な施設だ。サービスの向上を進めるうえで、施設内のカーテンの更新や高齢者に優しい腰掛座椅子などの整備が求められるが。

**答** 前向きに検討する。

## 議長ありさつ



副議長 佐々木 聡



議長 千葉 榮

このたび、令和5年9月臨時会において、議長に就任いたしました千葉榮です。前回の市議選は、戦後初めての無投票に終わりましたが、今回の市議選では、若くて素晴らしい新人議員が5名誕生しました。

これは、市民の皆さまの期待のあらわれだと思っております。

当市は、人口減少、高齢化、医療等、さらには、依然として厳しい財政状況等、取り組むべき課題が山積しております。活力と魅力にあふれ、安全で住みやすいまちづくりに向け、議員が一丸となり、釜石市民のために、積極的に取り組むべきと考えます。

市議会は、行政に対する監視機能を十分に発揮し、市民生活にとって最良の意思決定を行うため、気を引き締め、いままです以上、公正・公平かつ透明な議会運営を推進し、広く情報の提供と共有化を図らなければならないと思っております。市議会の円滑な運営とさらなる活性化に向けて、行政と一体となり地域の活性化のために尽力してまいります。

# 新しい議会構成

9月15日の臨時会において正副議長の選挙が行われ、議長に千葉榮議員、副議長に佐々木聡議員が当選しました。また、議会選出監査委員として、山崎長栄議員の選任に同意しました。

常任委員会等の委員会構成は次のとおりです。

**総務常任委員会**  
委員長 磯崎翔太  
副委員長 深澤秋子  
委員 井筒健太郎、遠藤幸徳、山崎長栄、千葉榮

**編集特別委員会**  
委員長 村田信之  
副委員長 細田孝子  
委員 深澤秋子、佐藤憲弘、井筒健太郎、佐々木秀明、菊池秀明

**民生常任委員会**  
委員長 三浦一泰  
副委員長 工藤聡一郎  
委員 村田信之、細田孝子、佐々木義昭、佐々木聡

**議会改革特別委員会**  
委員長 古川愛明  
副委員長 村田信之  
理事 井筒健太郎、三浦一泰、野田忠幸、山崎長栄、菊池秀明

**経済常任委員会**  
委員長 野田忠幸  
副委員長 佐藤憲弘  
委員 野田忠幸、佐藤憲弘、菊池秀明、古川愛明、高橋松一、菊池秀明

**災害対策特別委員会**  
委員長 磯崎翔太  
副委員長 高橋松一  
理事 深澤秋子、佐藤憲弘、菊池秀明、野田忠幸、山崎長栄

**議会運営委員会**  
委員長 菊池秀明  
副委員長 古川愛明  
委員 菊池秀明、古川愛明、遠藤幸徳、高橋松一、細田孝子、佐々木義昭

(委員は全議員)  
山崎長栄、野田忠幸、菊池秀明、佐藤憲弘、深澤秋子、高橋松一、磯崎翔太

	創政会	令和クラブ	21世紀の会	民政クラブ	公明党	会派に所属していない
釜石大槌地区行政事務組合議会議員	井筒 健太郎	工藤 聡一郎	野田 忠幸	佐藤 憲弘	細田 孝子	
岩手沿岸南部広域環境組合議会議員	菊地 広隆	菊池 秀明		三浦 一泰		
岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員	磯崎 翔太					
釜石港湾振興協議会役員				三浦 一泰		
釜石市社会福祉協議会理事	古川 愛明					
釜石市都市計画審議会委員	井筒 健太郎	高橋 松一	野田 忠幸	佐藤 憲弘		村田 信之
釜石市民生委員推薦会委員				遠藤 幸徳	細田 孝子	
釜石市青少年問題協議会委員	菊地 広隆					深澤 秋子

# 新任期を迎えた議員と市長・副市長



(市役所第一庁舎正面玄関前にて撮影)

## 議会の動き

- 7月
  - 26・会派代表者協議会
- 8月
  - 21・会派代表者協議会
  - 27・釜石市議会議員選挙告示
- 9月
  - 3・釜石市議会議員選挙
  - 8・臨時会準備世話人会
  - 13・臨時会準備世話人会
  - 15・9月臨時会
- 10月
  - 27・議会運営委員会
  - 20・会派代表者協議会
  - 20・議会運営委員会
  - 4・議員全員協議会
  - 6・議会運営委員会
  - 10・9月定例会(〜25日)
  - 18・議会改革特別委員会
  - 19・議会対策特別委員会
  - 19・議会だより編集特別委員会
  - 18・総務常任委員会
  - 19・議会運営委員会
  - 19・経済常任委員会
  - 20・会派代表者協議会

## あじか

▼「議会だより」は、開かれた議会と市民をつなぐメディアです。議会で話し合ったこと、市民のみなさんと対話をしたこと、出かけていって学んだことなどを、なるべくわかりやすい言葉でお伝えしていきます。▼1年生議員が委員長になるのは釜石市議会では初めてのことで、副委員長、委員のみなさんと力を合わせて「議会だより」をつくっていきこうと思います。釜石市民のみならず、よろしくお願い申し上げます。(村田記)

委員長 村田 信之  
副委員長 細田 孝子  
委員 井筒 健太郎  
委員 菊池 秀明  
委員 佐々木 義昭  
委員 佐藤 憲弘  
委員 深澤 秋子

## 陳情

令和6年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願 ↓ 報告

- 23・市政調査会
- 23・民生常任委員会
- 24・議会運営委員会(3回)
- 27・議会だより編集特別委員会
- 11月
  - 2・議会だより編集特別委員会
  - 8・議会改革特別委員会理事会
  - 13・議会だより編集特別委員会
  - 15・会派代表者協議会
  - 15・民生常任委員会
  - 議会改革特別委員会
  - 議会だより編集特別委員会

釜石市議会だよりでは、表紙に

掲載する写真を募集しております。

★応募先 [gikaijimu#city.kamaishi.iwate.jp](mailto:gikaijimu#city.kamaishi.iwate.jp)(#を@に)

釜石市議会では、本会議等のライブ配信及び録画配信を行っております。

スマートフォンの方はこちら→  
検索

